

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		発達支援ルーム そらまめ		公表日		令和7年1月27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		スペースの大きさとお子様の人数が最適になるように努めております。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		午前中のクラスでは個別療育を実施しているため、ひとりひとりのお子さまに担任がつくよう、人員基準を超えた人数のスタッフを配置しております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	お子さまにとってわかりやすい環境であるように、活動によって場所を変えております。	トイレの通路が薄暗く、不安がっていたため電気を設置することで安心してお使いいただけるようにいたしました。活動の流れがよりわかるようにスケジュール提示方法や役割分担についての再検討を行ってまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		室内・玄関の清掃やアルコール消毒を毎日欠かさず行っております。	室内に蟻が発生しましたが、迅速に対処し、今後様子を見ていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		発達支援室の一面に、カーテンで仕切られたクールダウンできるスペースを設け、お子様が自由に過ごせるようにしています。気持ちを落ち着けたい時に過ごせる場であることをお伝えしています。また、別室に個別に使用できる部屋も設けております。		
業	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		療育前に目標を設定し、療育終了後に振り返りを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者向け評価表を職員全員で共有し、保護者様の意向を把握し、改善できる点や工夫できる点はないか話し合っております。		

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎日ミーティングの時間を設け、支援方法の振り返りや各職員の相談したいことについて解決に向けた話し合いを行っております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	他の福祉事業所、相談支援事業所のご協力を得て、業務改善のご意見を頂戴し、改善に努めております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	外部研修の情報を職員間で情報交換をし、積極的に研修を受けられるような環境を整えています。毎月、法人内の職員研修にて研修の機会を設け、資質の向上に努めております。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		お子様の興味関心や、特性、発達段階に合わせたお子様が楽しく取り組める支援プログラムを毎月チームで作成し、毎日お迎え時に保護者様にお伝えしております。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	1	ご家族ならびにご本人のニーズを把握し、太田ステージによる認知評価に加え、必要に応じて作業療法士ならびに言語聴覚士の評価を総合して計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		児童発達支援計画の作成の際には、直接支援を行う担当職員がアセスメントシートを作成し、太田ステージ評価による認知評価、発達の五領域を中心とした課題と目標を設定しております。アセスメントシートをもとに全職員で会議を行い支援方法について検討しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	児童発達支援計画（個別支援計画）に沿った支援を行うよう心掛けております。	児童発達支援計画を全職員と共有する時間の確保が難しいことがあったため、職員全員に迅速に共有できる方法を再検討してまいります。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		VINLAND- II、KIDS、SPIに加え、太田ステージ評価による認知評価、作業療法士、言語聴覚士による標準化されたアセスメントツールを用いています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		児童発達支援ガイドラインに沿って、お子様にとって最善の支援を適切に設定し、支援内容を具体的に設定するよう心掛けております。	

支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	<p>クラスの興味関心や、個人や集団の特徴、発達段階に合わせたお子様たちが楽しく取り組めるプログラムを毎月チームで検討しています。</p> <p>「からだあそび」の活動において毎月、発達の5領域（健康・生活、感覚・運動、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性）に沿ったねらい、支援ポイントを立案、チームで検討し、実行しています。</p>	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	<p>活動プログラムは毎月チームで振り返りを行い、課題に対する習熟度を上げながら、固定化しないプログラムにできるよう工夫しております。</p>	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	<p>個別活動と集団活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援を行っています。</p>	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	<p>支援開始前には必ず打ち合わせを行い、その日の活動内容や支援のポイント、役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っています。</p>	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	<p>支援終了後には、必ず職員間で活動内容の反省や個別療育の内容について振り返りを行い、次回に活かせるように話し合っております。</p>	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	<p>毎日療育終了後に、その日のうちに記録を書き、支援の検討や課題の見直しの検討を行っております。</p>	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	<p>お子様の状況と支援計画に照らし合わせて、モニタリングを行っております。</p>	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	<p>児童発達支援管理責任者が会議に参画しております。必要に応じて担任や保育所等訪問職員を同席させ、お子様の成長を共有できるように努めています。</p>		
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	<p>児童発達支援管理責任者と保育所等訪問職員が支援会議に参画し、お子様の成長を共有し支援を行う体制を整えております。</p>		

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		多くのお子様が併行利用をされています。園とは保育所等訪問支援を行い、お子様を支えるチームとして情報共有をし、支援に活かしております。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		ご家族のご要望に沿って、当事業所での支援内容等の情報の引継ぎを行っております。		
	28	【28～30は、センターのみ回答】					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	【自立支援】協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	【31は、事業所のみ回答】					
地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		4	1		各市町村のこども発達支援センターと連携し、ご家族の同意を得た上で情報共有を行い、連携して療育を行っております。		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	2		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会は予定しておりませんが、保護者様からご希望がありましたら検討していきたいと考えております。		

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8		登所の際に、保護者様からお子様の健康状態を確認させていただき、状態に合わせて活動を進めております。また、降所の際はお子様の活動の様子を具体的にお伝えしたり、保護者様よりご家庭や園での様子を教えていただきながら、共通理解を深め、支援に活かしております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	毎年、子ども発達支援センターにご協力をお願いし、就学説明会を開催しています。昨年度は、こころの健康センターにご協力をお願いし、ゲーム依存についての研修会を開催しました。今後も保護者様のご希望に沿って、研修会等を開催していきたいと考えております。	ペアレントトレーニングについて、保護者様の希望に沿って実施の検討をしております。
保護者への説明	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時にお時間をいただき、ご説明をしております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		定期面談でお子様や保護者様のニーズを丁寧に聞きとるよう心掛けております。定期面談に限らず送迎時にお子様や保護者様からのニーズやご意見を伺い、個別支援計画に反映していけるように努めています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		児童発達支援計画を示しながら、各発達領域ごとに丁寧に支援内容についてのご説明を行い、同意をいただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		定期面談に加え、随時相談の機会を受け付けており、子育ての悩み等と一緒に考えさせていただいております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	午後の集団療育のクラスでは、今年度夏祭りイベントを開催し、ごきょうだい様の交流の機会を設定させていただきました。次年度も開催に向けた検討を行っております。また、保護者様がお早めにお迎えに来られる時には御一緒に活動に参加していただいております。	現在、当事業所では父母の会、保護者会等の活動は行っておりませんが、お迎えの時間に保護者様が顔を合わせ、活動や場を共有することによって交流できるようにと考えております。

等	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		相談や申し入れがあった場合には、迅速に対応できるように体制を整えております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		NPOのホームページと、インスタグラムにて毎週情報発信を行っております。	保護者様の中には、HPやSNS等で情報発信していることをご存じない方もいらっしゃるため、再度周知させていただきたいとおもいます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	2	個人情報保護のガイドラインに沿って、利用者様の情報を管理しております。	個人情報の記された書類の保管場所について、再度確認を行い管理を徹底してまいります。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		お子様の特性や保護者様のご事情に合わせた意思疎通や情報伝達を心掛けるため、時間、場所、内容、担当者、意思疎通のためのデバイスなどの配慮をしております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	当事業所では、行事に地域住民の方を招待する機会は設けておりませんが、他事業所や相談支援事業所の方を招いてイベント等を行っております。	地域住民の方を招待する機会については、保護者様のご希望に沿って実施を検討していきたいと考えております。
非常時等の対	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各マニュアルを策定し、定期的に発生を想定した訓練や会議を行っております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を定期的に行っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		大事なお子様の健康に関わる情報は、契約時に必ず確認をしております。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2		保護者の聞き取りをもとに判断しておりましたが、今後は医師の指示書の提供をお願いしていきたいと考えております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	お子様の支援における安全管理について定期的に会議を行い、安全計画の見直しや事故防止対策を行っております。	安全管理に必要な研修や訓練を今後実施していきます。

へ 応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2		事業所内でお子様の支援における安全管理について定期的に会議を行い、安全計画の見直しや事故防止対策を行っておりますが、今後は保護者様に安全計画に基づく取り組みについて周知していきたいと考えております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		毎日行うミーティングでヒヤリハットを報告した上で、デバイス上の「事故報告及びヒヤリハット報告書」に記載し、再発防止に向けた改善策を検討し、全職員に共有しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待委員会を設置し、職員全体で不適切支援の防止、虐待防止、身体拘束についての研修を行うだけでなく、定期的に虐待防止のセルフチェックを行い、不適切支援の防止、虐待防止、身体拘束の防止に努めています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1	個別支援計画に身体拘束を行う際の取り決めを記載し、保護者様の同意を得た上で職員間で具体的な対応を決定しております。	「わからない」と回答した職員が多かったため、身体拘束に関する対応について職員間で共有していきます。

※備考：「はい」「いいえ」どちらにも当てはまらない場合、「わからない」として回答を空欄にいたしました。